

水田農業経営確立 対策の目標と課題

「食料・農業・農村基本法（新農業基本法）」における水田農業経営確立対策（新対策）は、水田農業における様々な課題が提起されています。

新対策においては、

- ①単なる米減らしという観点だけでなく、麦・大豆などの土地利用型作物の生産振興や水田の有効利用に力点をしています。このため、農家が中期的な見通しにおいて安心して麦・大豆などの本格的生産に取り組めるような内容となっています。
- ②麦・大豆などの主産地形成を進めるため、一層の地域ぐるみで計画的な取り組みを行っていくことが重要であることから、農家・JA・役場などの関係者からなる協議会が主体となって、5年間の水田農業振興計画を策定すること。
- ③この計画に基づき、経営確立助成を交付するとともに、水田の汎用化のための基盤整備や麦・大豆などの生産・流通の合理化のための機械・施設の助成などについても、この計画に基づいて麦・大豆などの生産の定着・拡大に向けて積極的に取り組む地域に対して、重点的に実施することとしています。

これらの新対策の趣旨を踏まえ、今後の岩室村農業の課題についてシリーズで検証していきます。

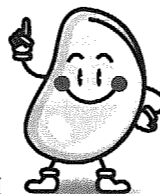
大豆の主産地形成に向けて

従来の岩室村は、典型的な水稲単作地帯でありましたが、米の生産調整という大前提がある以上、水稲に代わる高収益作物として議論してきた結果、大豆栽培の振興を平成9年から図ってきました。また、新対策においても大豆の本格的生産を指向していることから、村としても今後5年間の新対策の振興計画においても大豆栽培目標を策定しております。

岩室村の大豆作付面積は、表①のように推移しています。大豆栽培開始初年の平成9年から11年の3カ月で68.3ha、609%増となっております。また、今年度の大豆の作付計画は140haと飛躍的な伸びとなっており、5年後の平成16年度は200haを目標としています。このような伸びは、ほ場の整備、生産組織の結成など各集落において意欲的な試みがなされています。それに対し、作業機械の整備、作付田の団地化ブロックローテーションなどの問題も提起されてきています。

このように、水田農業振興計画の策定を進める中で、米の生産調整ということではなく、自らの地域農業の実態を把握し、合意形成を基本としながら地域農業の将来像をしっかりと見据えて、今後どのようにして大豆の本格的生産に取り組む、実需者のニーズに応える主産地形成を図っていくのか考えていただきたいと思います。

大豆の播種期が終わりつつありますが、このような問題を克服しつつ、「大豆の岩室村」として主産地を目指しましょう。



【表①】大豆作付面積と振興計画における作付計画 新対策、12年度は確定数値

年 度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
面 積(ha)	13.4	39.1	81.7	140	176	189	197	200
対前年比%		291	208	171	126	107	104	101

第42回衆議院議員総選挙 投票立会人募集 最高裁判所裁判官国民審査

岩室村選挙管理委員会は、6月に行われる予定の選挙の投票立会人を下記により募集します。

■選挙執行(予定)期日

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査 6月25日(日)

■投票立会人の仕事

- (1)投票立会人は、何人にも干渉されず独立した立場から選挙事務に立ち会い、選挙が公正に執行されることを確保することです。
- (2)勤務時間は、投票日の午前7時から午後8時までです。
- (3)報酬額は、一人13,000円です。
- (4)当日の昼食及び夕食は選挙管理委員会で用意します。

■投票立会人の条件

投票立会人の条件は、岩室村の選挙人名簿に登録されている方です。
(日本国民であり、満20歳以上で引き続き3ヶ月以上岩室村に住所を有する者)

■投票立会人の募集及び選任方法

- (1)選挙管理委員会に用意してある「申込書」に必要事項を記入し、岩室村選挙管理委員会事務局（総務課内）まで郵送又は持参によりお申し込み下さい。
- (2)申し込み締切は、平成12年6月9日(金)です。
- (3)応募は自分の投票区のみです。各投票区2名を選任しますので、応募多数の場合は抽選により選任させていただきます。

■お問い合わせ

岩室村選挙管理委員会事務局（総務課） ☎82-4111

新しい岩室村選挙管理委員長に 岡崎政男さん

平成4年4月から、8年間にわたり岩室村選挙管理委員（平成8年4月から4年間は委員長）として活躍された、田中孝さん（間瀬6区）が平成12年3月31日をもって退任され、4月1日から新たに風間重夫さんが就任しました。

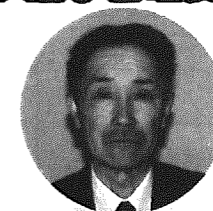
また、その後開かれた委員会で、新委員長に岡崎政男さん（岩室）が、委員長職務代理者に堀越暉一さん（北野）がそれぞれ選任されました。

就任後、岡崎新委員長は、「中立、公正に職務を果たしていきたい」と決意を述べていました。

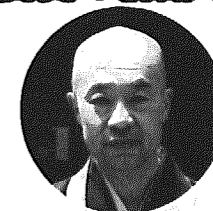
◆選挙管理委員会委員の構成◆



委員長
岡崎 政男さん
(岩室・73歳)



委員長職務代理者
堀越 暉一さん
(北野・69歳)



委員
寒河江真爾さん
(石瀬・61歳)



委員
風間 重夫さん
(和納11区・66歳)